



蓮通信

〒171-0052 東京都豊島区南長崎 3-9-23
事務局 ラボン・ファミユ 207 三浦功大方
電話・FAX 03-3951-5630

URL <http://www.lotusjp.com>
E-mail tokyo@lotusjp.com

2007年2月1日発行 通巻66号

暖冬のまま春が来そうな気配ですが、今年もよろしくお願ひ申し上げます。事務局あて年賀状をたくさん戴きました。有り難うございました。昨年よりたくさんさんの蓮の花が咲きますようにお祈り申し上げます。蓮通信33号お届けします。

第九回総会開く

蓮文化研究会第九回総会は、豊島区立勤労福祉会館で、一月二八日午後一時より、27名の出席と、75名の委任状をいただき、無事終了しました。二〇〇六年の収支決算報告、会計監査、新理事、今年度の事業計画案、予算案は同封別紙の通り、満場一致で承認されました。また、会則の改定が若干ありました。これも別紙の通りです。第5期の就任理事は推薦投票の結果、8名十追加者2名、合わせて10名となります。総会・特別講演は、松山俊太郎先生に「インド・中国の蓮の世界」について講演していただきました。

議事進行と、今年の活動予定は左記の通りです。

- 開 会
- 議長選出 伊藤俊久氏を選出
- 議事進行 2006年事業報告(別紙)
- 2006年収支決算報告(別紙)
- 会計監査報告
- 第5期理事選出開票結果(別紙)
- 新会長挨拶(池上正治理事が代行)
- 規約改定(別紙)
- 推薦投票による当選者8名及び追加者2名の理事就任承認
- 2007年事業計画(案)
- 2007年予算(案)
- その他

以上、原案通り議決されました。

新理事紹介

今回の開票の結果、当選した8名の推薦により、工藤愛子さん、山本和喜氏も理事に就任します。この結果、9名の留任+1名の新理事体制となります。新理事、他役員は以下の通りです。

- 顧問 松山俊太郎(インド学研究者)
- 会長 南 定雄
- 理事 三浦功大(事務局長) 池上正治 千島秀元
- 木暮照子 印南洋造 上村皓彦 小松玉枝
- 工藤愛子 山本和喜
- 監査 辻田紀代志 秋山恵俊

二〇〇七年の活動予定

- 2月初旬 蓮通信33号発行
- 4月8日(日) 第35回例会 「蓮根植替え実習及び蓮根分根」 東京大学緑地植物実験所
- 5月中旬 蓮通信34号発行
- 5月26日(土) 第36回例会・情報交換会
- 6月下旬 蓮通信35号発行
- 7月?日?日 第21回中国荷花展参加
- 7月14日(土) 第37回例会 蓮文化研究会主催 観蓮会 東大緑地植物実験所
- 7月17日~18日 京都花蓮研究会観蓮会(琵琶湖)
- 8月下旬 蓮通信36号発行
- 9月30日 『公報蓮文化だより』12号原稿締切り
- 10月27日(土) 第38回例会・情報交換会
- 11月下旬 蓮通信37号発行
- 平成20年1月中旬 第10回総会及び『蓮文化だより』12号発行予定

蓮根植替え実習及び蓮根分根のお知らせ

- 日 時 2007年4月8日(日) 午前10時~14時
- 場 所 東京大学緑地植物実験所
- 住 所 千葉市花見川区畑町1051
- 問合せ 事務局 03-3951-5630
- ※当日事務局の携帯090-3596-2822(三浦)
- 講 師 南 定雄 会長
- 参加費 会 員 2,000円(肥料代及び蓮根代)
- 非会員 3,000円(肥料代及び蓮根代)

集合場所

- ① 東京大学緑地植物実験所
 - ② JR総武線新検見川駅改札口
- 9時半~10時に新検見川駅に着いた方は送迎いたします。

- 宿 泊 宿泊ご希望の方は、会場近くにある東大セミナー・ハウスをご用意いたします。5,000円(予定)
- 宿泊代
- 詳細は宿泊希望者に後日ご連絡いたします。
- ご注意 ①雨天決行です。
- ②昼食は各自でご用意下さい。近くにコンビニがあります。お茶は用意します。

締切り 準備の都合がありますので、参加希望の方は3月30日まで事務局に連絡下さい。

新顧問を松山俊太郎先生にお願いしました。

空席になっていました、当研究会の顧問を、今年より、松山俊太郎先生(インド学研究者)にお願い致しました。先生の紹介については、蓮通信32号の第9回総会記念講演の講師紹介を参照下さい。くわしくは、ネットの「松山俊太郎執筆目録」を検索下さい。

会費納入のお願い

二〇〇七年度の会費納入をお願い申し上げます。同封の郵便振替用紙にてお振込をお願い致します。

- 賛助会員 二〇,〇〇〇円
- 夫婦会員 八,〇〇〇円
- 一般会員 五,〇〇〇円

郵便振替番号

蓮文化研究会 00170・5・608708

事務局よりお願い

理事改選の投票及び総会出欠のハガキをお願いしましたが、回収率が芳しくありません。総会出欠ハガキは半分、理事改選の投票は三分の一でした。蓮文化研究会の活動を支えるのは会員各位の力です、事務局からの要望には出来るだけご返事を出していただけますようお願い申し上げます。

事務局の電話番号が変わりましたので、お手元の電話番号の書き換えをお願いします。住所は変わりません。

新電話・FAX 03-3951-5630

インターネットの中の蓮

三浦 功大

遅ればせながらインターネットを始めてから一ヶ月ほど過ぎた。閲覧するのは主に蓮関係のサイトである。蓮の花、蓮華、れんこん、散華、荷花などを検索して見ているが、蓮の花に興味を持っている人が、これほどいるのかと思うくらい、検索結果でヒットする数の多さに驚く。これらを全部見て回るには、時間がいくらあっても足りないほどの項目がぞろぞろ出てくる。

これらを見てみると蓮の花についての言及には、単純な間違いがかなり多く見られ、まだまだ正しい認識がなされていないことを痛感する。検索に出てくる項目に書き込んでいる人達は、先人の書いた間違いをそのまま孫引きしているようだ。

まず、蓮と睡蓮が同じものと思っている蓮マニアがまだ大勢いるように思われる。また、蓮と蓮根は違う植物と思っている人も中には見受けられた。

植物分類でも蓮は蓮科、蓮属に分類されているのが一般的だが、また睡蓮科、蓮属になっているものが多い。また、蓮の原産地が、エジプト、インド、中国など、と書いているものがほとんどだ。中にはご丁寧に原産地を二ヶ所、三ヶ所と書いているものもあった。蓮の原産地はまだ特定できていない。

ほとんどのサイトで、「大賀蓮」を「大賀ハス」と書いてあるのが気になった。「おおがはす」は「大賀蓮」で登録されている品種名ですので、「大賀ハス」ではなく、「大賀蓮」と書くのが正しい表記です。また、蓮の日は、7月3日、8日、23日の3通りあった。

元来、占いや花言葉などは信じないが、「蓮」の花言葉をクリックすると、驚くほど沢山のサイトが延々と画面を埋め尽くす。サイトによって、雄弁、沈着、熱愛などまちまちだった。蓮が出ていないサイトもある。サイトを作っている人が、好き勝手に書いているとしか思われない。皆さんも是非見ていただきたい。

新年西武線沿線の寺院巡りをしましたら、新青梅街道沿い哲学堂公園のすぐ近く、中野区江古田一丁目の「蓮華寺」の本堂のガラス戸が蓮池でした。(写真下)

新井薬師の天水も蓮の花と蓮の葉でした。共に西武新宿線新井薬師駅下車



大賀蓮タイ・チェンマイへ

南 定雄

過去8年間、04年の11位を除けば、なんと蓮(れん)君は、ベストテン入りしている！ 命名の由来としては、仏教や映画などがあるそうだが、宿題としたい。

2006年	3位
2005年	11位
2004年	1位
2003年	8位
2002年	4位
2001年	5位
2000年	8位
1999年	9位

(明治安田生命 HP より)

新生男児「蓮」、昨年は第3位に

池上正治

年末から年始にかけ、新聞の記事に注意している。理由の一つに、新生児の名前のことがある。そのニュース・ソースが生命保険会社であることは、かねて知っていた。ならばいつその事、ネットで探すことにした。目的は、当然その年に「蓮」と名づけられた男児のランクである。